

# Onikidon

おにきどんタイムズ  
Times

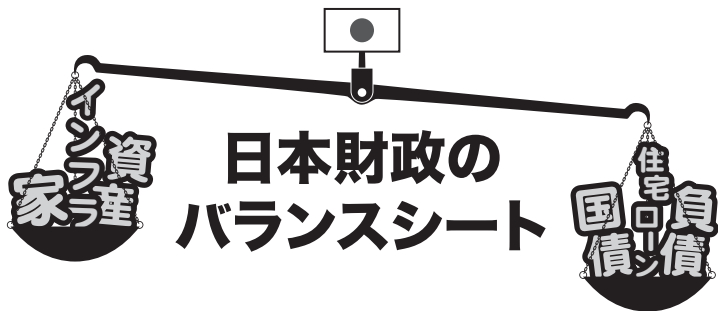
第34号

SINCE2002

特集

## 日本財政のバランスシート

日本の公会計は単式簿記を採用しているため、複式簿記を利用している民間企業の感覚と議論がかけ離れてしまっています。そこで今日は、日本の財政を家計に例えつつ、バランスシートの考え方にあてはめて、日本財政のあるべき姿を議論したいと思います。家計で例えた時、健全な財政とはどのような状態でしょうか？ 借金はなければならないほうがいいに決まっていますが、まったく借金せずに家やマンションのような高価な物を手に入れることはできませんよね？ 『長く住む家は住宅ローンで購入し、生活費は毎月の収入の範囲でやりくりする』。まずはこの構図を頭の中に入れておいて、議論をスタートしましょう！



### ■社会資本のための借金

「長く住む家は、住宅ローンで購入する」これは国で言えば「長期使用する社会資本は、長期の借金で建設する」と置き換えられます。社会資本とは道路や上下水道などのインフラです。これらの建設が公共事業ということになります。長く使う社会資本を長期の借金で作ることは、大きな支出を現役世代だけで負担するのではなく、これから利用する将来世代と負担を分け合うという合理的な意味があります。また、「長期の投資を長期の負債でまかなう」ことは、バランスシートの考え方から言っても理にかなっていません。

### ■公共事業は悪ではない

「社会資本を借金で作る」と言うイメージが悪いかもしれませんが、社会資本も借金も元来「悪」ではありません。社会資本とは生活に必要なインフラであり、生活を便利にしたり（道路や地下鉄整備）災害を防

ぐ（河川や上下水道整備）という役割をはたしています。ひところ、「公共事業＝悪」と断罪され、日本の公共事業はものすごい勢いで減らされていきました。その結果、必要な社会資本整備が大きく遅れ、修理が必要なトンネルが崩落するなどの事故まで起こるようになりました。公共事業をひとまとめに悪とする議論から脱却し、何が無駄なのかを内容ごとに検証すべきではないでしょうか。使われない道路や橋に巨額の税金をつぎ込むなら、それは無駄があると言ってもいいでしょう。単純に「公共事業＝悪」ではなく、長期の負債に見合った資産が残るかどうかが、まさにバランスシートの資産の内容が問題の本質なのです。

■「コンクリートから人へ」の間違った信号をつけてほしい、水害対策をしてほしい、これらも社会資本の整備にあたります。実際に議員をやって

いと、地域からの社会資本充実の要請はたいへん強いものがあります。国民生活にも影響を与えるものですから、公共事業費は減らせばいいというほど単純なものではないのです。社会資本のための借金は、それに見合うだけの国民のためになる資産も増えています（建設国債）。問題なのは、形が残らないものに借金を積み重ねてきたことなのです（赤字国債）。「コンクリートから人へ」という論理は一見正しそうに見えますが、ハードの借金をソフトの借金に変える政策は、間違いだと言わざるをえません。借金で社会保障を増やしその分の公共事業を減らすという政策は、負担を先送りし将来世代への投資を削る政策なのです。

### ■なぜ消費税が必要か

「生活費は毎月の収入の範囲でやりくりする」これが家計を健全に維持するための鉄則です。これは国で言えば「毎年必要となる経費は、税収の範囲でまかなう」と置き換えられます。今の日本の大きな問題は、毎年必要な経費（短期の運転資金）を、税金でなく借金（長期の負債）でまかなってきたことです。その結果、次世代に長期の負債が残されまし

た。毎年必要となる経費が税金でまかなえなくなった背景には、増え続ける社会保障費の負担があります。毎年1兆円ずつ増え続けている社会保障費…これが赤字累積の正体です。家計で例えれば、毎月の生活資金が足りなくてカードローンで借りまくって借金まみれになっている状態です。「赤字を次世代に先送りしないため、社会保障に必要な収入を確保しましょう」というのが、消費増税の背景です。「増税になってもサービスが良くなる」という批判がありますが、消費税は社会保障による借金を減らすだけなので、社会保障の財源が増えたわけではありません。したがってサービス向上には直接つながらないのです。負担を次世代に先送りしないための政策です。どうかご理解ください。



おにきどんタイムズ読者の皆様の  
**ご意見ご感想を  
お寄せ下さい！**

鬼が斬る

## 消費税は社会保障にしか使われない

マスコミや国会議員の中にも「消費税が公共事業にまわっている!」という批判をする人がいますが、そんなことは決してありません。消費税は社会保障費（H26年度からは子育て支援も含む）にしか使わないと決められています。今号で繰り返し述べたように、「社会保障の財源は消費税でまかない、公共事業の財源は建設国債でまかなう」というのが正しい財政のあり方なのです。公共事業による経済対策は建設国債で手当てされるものです。短期の運転資金と長期の投資資金を混同していることが、このような誤解を招いているのです。

### おにき誠：プロフィール

- 昭和47年10月16日、福岡市にて生まれる
- 田島小学校卒(城南区)
- 当仁中学校卒(中央区)
- ラ・サール高校卒(鹿児島)
- 九州大学法学部卒
- 平成7年 西日本銀行(現・西日本シティ銀行)入社
- 平成14年3月、同社を退社
- 平成15年4月～24年11月 福岡県議会議員
- 平成24年12月、衆議院議員に初当選

### 衆議院において

- 財務金融委員会
- 内閣委員会
- 消費者問題に関する特別委員会

webでOnikidonTimesバックナンバーを公開中!

おにきどん

検索

流した汗が報われる社会へ



# おにき誠

事務所

衆議院議員

福岡事務所

〒810-0055  
福岡市中央区黒門6-3-2F  
TEL(092)725-2315  
FAX(092)725-2319

国会事務所

〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館715号室  
TEL(03)3508-7182  
FAX(03)3508-3612



福岡2区  
中央区  
南区  
城南区

自民党

www.onikidon.com  
makoto@onikidon.com

